

出張おしゃべり Cafe(やまなみ工芸)

2026.6.24 やまなみ工芸

議会出席：高橋委員長、富田副委員長、議長、熊澤

出席職員：石川所長、ほか 4 名(看護師含む)

やまなみ工芸を訪問し、日々の作業の中で感じていること、抱えている課題、工夫されている点などについて、利用者の皆様や職員の皆様から直接お話を伺いました。

やまなみ工芸ってどんなところ？

障害のある方が、一人ひとりの得意なことや体調に合わせて働き、社会参加や自立を目指す就労継続支援 B 型事業所のこと。

見学して気づいた点

- ✓ 自動車部品を週 21,000 個製作
- ✓ タオルの袋詰めや説明書折り、ひのきブロックの仕上げなど、多彩な作業を実施
- ✓ ノルマはなく、それぞれのペースで作業できる環境

利用者の声

南足柄市から毎日送迎車で通所している方からは、「4 年ほど通っていますが、大変だと感じることは特にありません」とのお話を伺いました。

職員さんから伺ったこと

- 行政の対応はとてもスムーズで助かっている。
- 看護師が週 1 回勤務し、医療的ケアにも対応している。

💡現場からの要望

○ごみ収集を 10 分遅らせてほしい。(理由:ごみの搬出(特に金曜日)が職員の来所時間と重なってしまい、対応が難しい状況である)

○アルミ缶など金属資源の回収量を増やし、利用者の仕事や収入につなげたい。
(現在、回収量は月約 80kg／、収入は約 2 万円)

🍀委員が感じたこと

「できること」「苦手なこと」は、一人ひとり違って当たり前です。

利用者の皆様は真剣な表情で作業に取り組む一方、休憩時間には笑顔で作業内容を教えてくださいました。

誰もが自分らしく活躍できる地域づくりには、お互いを知り、理解し合うことが大切だと改めて感じました。

以上